

植物の世界でも **女は強い**

## 雌木のハナノキが雄花を咲かせ 翼果を作る 台風で倒れても移植先で見事に再生！

大橋正規 (シ13)

甲山森林公園 (昭和45年完成) には当初雌雄2本のハナノキが植えられていたが、その後雄木は枯死して、現在は雌木1本だけが残っています。

ハナノキはカエデ科の雌雄異株です。従って雌木1本では種子は出来ない筈ですが、毎年沢山の翼果を实らせませす。2009年3月29日満開の花をよく見ると葯を長く伸ばした雄花があった。



翌年3月16日開花を待って再度観察すると今度は同じ枝に雄花と雌花の両方及び両性花も咲いていた。大概の人はこのような状態を「突然変異」と言いますが何か理由がある筈です。雌雄異株の植物も多くは元々両性花であったものが近親受粉を避けるため、進化の過程で雄しべ又は雌しべが退化して雌雄異株になったものと思われます。このハナノキの花もルーペで観察すると雄花には退化した小さな雌しべが、雌花には退化した小さな雄しべが残っています。

### この木が何故両性株なのか？

私の仮説ですが、雌木が1本になって子孫が残せないため、必要に迫られて雄花を咲かせたのではなかろうか？ 高知県の牧野植物園にも同様の木があるそうです。但し、雄木には雌花が出来ないとのこと。 **女が強い証です。** 昆虫にも雌だけで繁殖するものがあります (雌だけが上陸した六甲山の外来キベリハムシ等)。(そのうち、哺乳動物である人間も雄が不要になるかも???)

### 倒れてもなお蘇る強さ！

2011年5月29日の台風で倒れ、枯死寸前まで1カ月間放置されていたものを管理者に働きかけて、移植しました。植木屋も絶対に着かないと言っていましたが、見事に再生！

**やはり女は強いですね。** (雄木なら枯れていたかも。)

2011年6月30日移植作業 ⇨

翌年の3月も花を咲かせましたが雌花ばかりでした。倒木後1ヶ月間の放置と移植のショックで体力が衰え、雄花をつける元気が無くなったと思われます (想定内でしたが)。今年の春が楽しみです。きっと雌花と雄花を咲かせ、プロペラ (翼果) を実らせてくれるでしょう。(残念ながら今年も駄目でした) 2013.4 独断と偏見をお許しください。

